

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスかがやき（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和6年10月18日		～ 令和6年11月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和6年10月18日		～ 令和6年11月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 活動は、調理、製作、遊育など10種類程あり、毎回違った内容の活動提供に努めている。 実生活で役立つことを目的にした活動の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な体験、経験の場となるようより一層活動の充実を図りたい。 内容の充実を図れるよう毎日振り返りを行い、試行錯誤し、児童全員が楽しく参加できる活動の提供に努めている。
2	将来を見据えた支援	<ul style="list-style-type: none"> 買い物学習を行うことで、金種の理解、手先を使った金銭の授受の練習、ほしいものを探す練習、分からない時は店員さんに聞くなどしている。 将来を見据えた時に、学年が上がるにつれ利用日数が減っていくよう本人支援、保護者さんへの説明をしっかりとしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童、保護者さんからの要望に耳を傾けニーズに沿った支援を実施していく。 児童一人ひとりに沿った内容の検討や雰囲気作りを大切にしている。
3	保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童へのきめ細やかな支援と、保護者支援を大切にしている。コミュニケーションをよく取るようにしている。 不安なこと、困りごと、また事業所への要望はないか定期的にお聞きしかがやきで検討、できることをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「親が笑顔だと、子どもも自然と笑顔になる」その笑顔に繋がるよう微力ながらも、寄り添った支援を今後もしていきたい。 職員間で共有し、最善を尽くせるよう日々一人ひとりが考え支援の方向性を定めている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一人あたりの利用回数が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 小学校高学年、中学生、高校生が利用している。登録者数が約30名程いるため、一人あたりの利用日数がどうしても少なくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来を見据えた支援の提供を。学年が上がるにつれ利用日数が減るように本人支援、保護者さんへの説明をしっかりとしていく。卒業を見据え、必要な社会資源の情報提供を継続して行っている。
2			
3			

事業所名	こどもデイサービスかやき
------	--------------

公表日 令和6年12月16日

利用児童数 23

回収数 20

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1			・場所は窓が大きくて明るくて良いと思います。広い子供も気に入っています！ ・きれいで明るい施設だと思います。	ありがとうございます。基準以上のスペースを確保し、利用児童が快適に過ごせるようになっております。気持ちを落ち着かせたい時には個室も準備しています。児童一人ひとりに合った場所の提供ができるようにしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2			・問題が起こる度に相談して下さりいつも親切にしてもらっています。 ・皆さん親切です。 ・現状で大丈夫ですが、もっと職員さんが増えたら利用日回数も増えるなら嬉しいです。	保育士、社会福祉士、作業療法士など専門の知識を有した職員を配置しています。今後もお子様、保護者様に寄り添った支援をしていきたいと思っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1				エレベーターや手すりなども設置し、室内は段差のないバリアフリー化となっております。階段昇降の際は、職員が確認し安全面には配慮しております。一日の流れや活動内容、児童、職員の配置についてはボードで確認できるようにしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	1			・施設はすごい綺麗です！いつも掃除してるんだなあという印象を受けます！ ・新しい施設でうちのコの大好きなカラオケまであって天国のようですお友達もスタッフさんも親切です。	毎日環境整備を丁寧に行っています。年間計画を立て、大掃除も実施しています。今後も、お様が安心して快適に過ごせるよう気をつけたいと思います。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					日々の児童の様子を見ながら、支援の方法（方向）を考え関わらせていただいております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1			・毎回企画の狙いなどを連絡帳で説明いただき意義あると思います。	楽しい！と思ってもらえる行事の計画、実施を今後していきたいと思っています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					児童発達支援管理責任者を中心として、計画の作成をしています。一人ひとり個別支援計画策定会議を設け、全職員で話し合いを行っております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20					個別支援計画に内容を記載し、保護者様へ説明しております。計画作成にあたり、具体的な支援を全職員で考えております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1				毎日の引継ぎ、定期的な会議にて見直しを行い、今の児童の状態に合っているか全職員で確認をしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20				・親では思いつかない切り口の企画が多く助かっています。	今後も様々な活動を提供できるよう職員で話し合いしたいと思います。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	5	4		・違う学校の子や学年が違う子とも遊べて良いと思います！ ・ないほうがありがたいです。 ・分かりません。	実施をしないでほしいといった意見が多数あったため実施していませんでした。今後もニーズの確認をしながら検討したいと思います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1			・1年に何回か施設に何って話を聞いたり、家での事も聞いてもらっています！ ・1円単位の費用計算です。もっとざっくりでもよいからです。	説明は必ず保護者さんへさせていただいております。今後も何かご不明な点がございましたらいつでもご連絡いただければと思います。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					説明は必ず保護者さんへさせていただいております。ご不明な点がございましたらいつでもご連絡いただければと思います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	7	2		・保護者会はない方が良いです。 ・お祭りなども企画して下さり楽しんでいます。	研修会がある場合は連絡をさせていただいております。保護者会については、しないでほしいといったご意見があったため今年度は一度だけ実施をしました。今後もニーズの確認をしながら検討したいと思います。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20					送迎時や様々な連絡ツールを用いて、保護者様とやり取りをさせていただいております。今後もお家での子育てを教えてくださいたいと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					定期的に保護者面談をさせていただき、情報共有をしております。忙しい中いつでも参加していただきありがとうございます。定期以外でもいつでも保護者面談できますので、いつでもご連絡いただければと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					保護者様とお子様と会話できちんとできるよう努めております。今後も何かありましたらいつでもご相談ください。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	7	5		・保護者会はない方が良いです。	保護者会については、しないでほしいといったご意見があったため今年度は一度だけ実施をしました。今後もニーズの確認をしながら検討したいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	3				ご相談のご連絡をいただいた際は、事業所に来ていただき、面談をさせていただいております。必要に応じて学校の先生、相談員の方にも同席していただき、情報共有しております。また関係各所からのご案内は、随時させていただいております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	2				職員一人ひとりが気をつけております。何かありましたらいつでもご意見いただければと思います。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1				定期的に広報誌やSNS等で活動の様子が分かるものを発行、発信しております。自己評価はホームページにて公表しております。公表後は保護者様へ連絡しております。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1				職員一人ひとりが気をつけております。何かありましたらいつでもご意見いただければと思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1				契約時、定期的に行っています保護者面談の際に、必ず説明をするようにしております。マニュアルについては今後も定期的に見直しを行い変更がある場合はお知らせをさせていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	2			・避難訓練の日に行っていない。	年度はじめに年間計画を立て、毎月避難訓練の実施をしています。今後も児童全員が参加できるよう実施曜日に気をつけたいと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1				事業所の安全計画については、契約時、保護者面談にて必ず説明をするようにしております。ご不明な点がございましたらいつでもご連絡ください。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2				事故や怪我はないように気をつけておりますが、万が一あった際はすぐに応急処置などをし保護者様には迅速に連絡をさせていただいております。今後も引き締めていきたいと思っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20					これからも安心して過ごしてもらえよう職員一人ひとりが考え関わらせていただきたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			・時々気分のせいで気乗りしない時もありますが行くと必ず楽しかったと教えてくれます！	楽しいと思ってもらえよう、ワクワクする場所になるよう努力し続けます！ありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1				今後も様々な活動を提供できるよう努めて参ります。ご意見、ご要望がありましたらいつでも教えていただければ幸いです。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもデイサービスかがやき					公表日	令和6年12月16日
		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			・宿題部屋と活動室を別に行っている。 ・施設の設備が整っている。	継続していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		・スタッフの数や経験者は多いほど良い。	今後も施設内外の研修に参加していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			・施設の設備が整っている。	継続していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			・消毒や整理整頓を常に行っている。 ・施設の設備が整っている。 ・宿題部屋、活動部屋、遊びの部屋、大きい空間、落ち着く空間に分けられている。環境整備は毎日3回実施。	継続していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			・施設の設備が整っている。 ・環境は整えられている。	継続していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		・目標設定、振り返り、次に活かすこと等は日々の業務内で全職員が理解している。	継続していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・会議を設け話し合いを行い業務改善に繋げている。保護者様の意見やお気持ちを聞き支援の励みにもなっている。	会議を設け一人ひとりが意識を高めれるよう共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			・毎日の引継ぎで情報共有を行っている。 ・毎日のミーティング他、月1、必要に応じて会議を設け職員の意見を聞く場、集約する場を設けている。支援の統一ができるようにしている。	継続していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			・第三者委員会を設置し第三者委員の方より毎月ご意見をいただき業務改善に繋げている。	継続していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5			・法人全体研修会に参加している。 ・施設内外の研修に参加。	継続していく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			・作成している。	・作成をしています。ホームページにて公表。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			・計画策定会議を行い、職員間で計画作成をしている。	会議を実施し、一人ひとりの計画の見直しを行い、現状の課題に向けた新たな計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			・その都度検討を行い話し合い、支援の方向性を定めている。	継続していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			・常に職員間で情報共有して対応している。 ・計画は全職員が入った会議にて見直し、検討されている。	継続していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			・契約前見学、契約時、相談員の寄り情報をお聞きし、アセスメントシートの作成をしている。	継続していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			・丁寧に作成している。 ・児童一人ひとり時間を設け、話し合いを行い計画作成にあっている。	会議を実施し、計画の見直しを行っている。職員一人の意見ではなく、全員の意見を出し合い作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・工夫された取り組みが行われている。 ・毎月会議で見直しを行い翌月に反映している。	毎日担当を決め、事前の計画をし実施している。今後も継続していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			・毎月会議にて話し合い工夫している。長期休暇などはその時にしかできない活動の提供に努めている。	継続していく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			・個別活動、集団活動どちらの活動もしている。計画にも反映している。	継続していく。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			・引継ぎで必ず活動内容、その他の情報を共有している。データでも残すようにし全職員が確認できるようにしている。	毎日の引継ぎにてその日の確認を行い、支援の統一を図っている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			・ 終礼をしそこで情報共有している。終礼ができない日は翌日必ず振り返りを行っている。	継続していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・ 引継ぎ事項に入れている。個別の記録も毎日している。	支援の検証・改善はその都度している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			定期的モニタリングは実施をしている。全職員が意見提案をし見直しを行っている。	継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			高学年が対象の事業所のため、年齢や特性に合った活動の提供、支援に努めている。	継続していく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			・ 工夫している。	意思決定支援を尊重している。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			・ 児童発達支援管理責任者が必ず参加している。会議前には様子等をまとめた文章を必ず準備し会議で情報共有に抜けがないようにしている。	継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			・ 関係各所とは連携をとり役割分担を明確にしている。必要な助言をいただいている。	継続していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			・ 丁寧に行っている。	継続していく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		・ 小学校高学年～中学生、高校生の方が利用しているため関係各所から情報をいただいている。	継続していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			・ 必ず移行会議を設け、情報共有している。会議前には様子等をまとめた文章を必ず準備し会議で情報共有に抜けがないようにしている。	継続していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		・ イコール等の専門の研修に参加をしている。	継続していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	1	・ 児童、保護者様が望んでいない。	今後もニーズの確認をしながら検討する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5			・ 毎月参加をしている。	継続していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・ 送迎時、電話、その他の連絡ツールにて情報共有、保護者様の気持ちを聞いている。	継続していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			・ 職員が学び個別にて情報提供をしている。	継続していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・ 利用開始時に利用契約書や重要事項説明書の説明を通して丁寧な説明を行っている。	継続していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・ 意思決定支援を支援の中では大事にしている。将来を見据えた際の支援も行っている。	継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			・ 年に2回以上は説明の場を設け保護者様より同意を得ている。	継続していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			・ 送迎時や電話、ライン等で話している。 ・ 必要に応じて、面談もしている。保護者からの相談も多くある。	継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1		・ 保護者様が望んでいないが今後も検討していく。	今後もニーズの確認をしながら検討する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			・ 誠意をもって対応している。 ・ 窓口を作り対応している。	継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			・ 定期的に広報誌を発行している。ホームページやSNS等、また個別連絡を用いて必要な情報を伝えている。	継続していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			・ 意識の徹底ができるよう日々の業務の中で一人ひとりが気を付けている。	継続していく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・ 目で見てわかるように、文字や絵、写真を掲示し、情報伝達しやすいようにしている。電話連絡以外にも連絡ツールを活用し情報を伝えている。	継続していく。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3		・事業所の近隣を定期的に地域貢献活動の一環であるゴミ拾い活動をしている。また散歩へ行き地域住民の方へ挨拶をしている。	継続していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			・契約時、定期的な面談にて必ず説明している。	契約時以外にも年2回の保護者面談にて説明をし、実施後は各保護者様へ報告をしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・契約時、定期的な面談にて必ず説明している。	継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			・契約時にアセスメントシートを活用し必ず保護者の方へ聞いている。	継続していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			・契約時にアセスメントシートを活用し必ず保護者の方へ聞いている。	継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			・安全計画の説明については必ず保護者様へしている。変更時はその都度お知らせをする。また年間計画の中で訓練や研修を実施し全職員が参加している。	継続していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			・安全計画の説明については必ず保護者様へしている。変更時はその都度お知らせをする。	継続していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			・毎月の職員会議で情報共有している。また検証もし再発防止策を検討している。	継続していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・毎年年間計画の中に入れ全職員が参加している。	継続していく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			・必要に応じて対応する。	継続していく。